



(写真) 国営放送局 (VTV) “副大統領 PDV Holdings の競売はベネズエラ国家資産の不当な強奪”

2025年12月1日(月曜)

政治

- 「[国際線めぐる情報が錯そう 飛行区域を制限？](#)
～Air Europa、PlusUltra もライセンス停止？～」
- 「[国会 カリブ海での米軍による殺人調査を開始](#)」

経済

- 「[12月観光業 国際線キャンセルで打撃](#)
～1～10月の観光業は前年同期比56%増～」
- 「[ベネ送金受取額 前年比16%減の32億ドル](#)」
- 「[Black Friday 売上前年比8～12%増](#)」

社会

- 「[タチラ州空港からコロンビアへの移動が増加](#)」

2025年12月2日(火曜)

政治

- 「[マドゥロ政権 米国からの移民送還便を再開](#)」
- 「[トランプ大統領 陸上攻撃意思を改めて表明](#)」
- 「[各国政府 ベネズエラ渡航に警戒呼びかけ](#)」
- 「[国際刑事裁判所 カラカス事務所閉鎖を発表](#)」
- 「[国会 野党政治家5人の国籍はく奪を提案](#)」

経済

- 「[CITGO 競売 CITGO、Gold Reserve 申し立て](#)
～マドゥロ政権 国家資産を奪う詐欺の蛮行～」
- 「[コーヒーイベント 高得点得た上位5ブランド](#)」
- 「[Chevron マラカイボ湖で浚渫作業実施](#)」

2025年12月1日（月曜）

政治

「国際線めぐる情報が錯そう 飛行区域を制限？

～Air Europa、PlusUltra もライセンス停止？～

米国連邦航空局（FAA）がマイケティア飛行情報区の警戒情報を発表して以降、ベネズエラ便の運航停止を発表する航空会社が増えており、情報が錯綜している。

11月30日 ベネズエラの航空監督官庁であるINACが「マイケティア飛行情報区の一部地域について、民間航空および一般航空（GA）を含むすべての非軍用航空機の運航を全面的に制限／禁止する」と発表したと報じられた。

指定された一部地域はマイケティア飛行情報区のN5、N6、N7、N8の4つの地域で、具体的に以下の地域だという。

N5：コロンビア国境近くの アプレ州

N6：アプレ州～アマゾナス州を結ぶ回廊地域、深いジャングルや南部への内陸ルートを含む

N7：プエルト・アヤクーチョ周辺－違法滑走路の存在や武装勢力の動きが指摘される地域

N8：ポリバル州、グアリコ州、オリノコ川流域－国の中央から南部にかけての水運・航空ネットワークにかかわる地域

これらの地域については、民間便が事前承認なく運航することはできないとしている。

なお、同措置の期間は2025年11月30日～2026年3月1日と報じられている。

El INAC resalta que los vuelos civiles no podrán operar sin aprobación previa.



Federal Aviation Administration

A0622/25 NOTAMR A0483/25
Q) SVZM/QRACA/IV/NBO/AW/000/999/0812N06635W999
A) SVZM
B) 2511301810 C) 2603012359
D) H24
E) OPS GA CIV ARE RESTRICTED INCLUDING OVERFLIGHTS AND CROSSING W/ FLW COORD AREA:
EXCLUSION ZONE N 5
072727N0712611W, 070843N0714721W, 070349N0714059W
070255N0712119W, 070538N07105059W
EXCLUSION ZONE N 6
072649N0711522W, 070738N0704310W, 065835N0701549W,
070112N0700450W
065407N0695748W, 064504N0692616W, 070132N0693159W
EXCLUSION ZONE N 7
060920N0692458W, 061142N0691947W, 060723N0691330W,
061508N0690422W,
060941N0683844W, 061349N0682747W, 061132N0681912W,
061510N0680626W,
061401N0680010W, 061604N06875543W, 064748N0695304W
EXCLUSION ZONE N 8
074824N0672155W, 075802N0653800W, 074528N0655439W,
074143N0662359W
072218N0663839W, 0670842N0670839W, 064845N0670600W,
062946N0671315W
061818N0672646W
AWY AFFECTED:W17 PTC/SFD W7 SFD/DEVUS W26 GARC/METAS W26
RIEC/AUC
W26 AUC/KIKAS W29 RIECI/LMIL W23 ILMIL/CTN G300 AUC/CTN A550
KIKAS/CTN
DUE OPS MIL, MNTN CTC PERM ACC/MAIQUETIA SECT 5 FREQ 128.7MHZ,
TWR/SANTO DOMINGO FREQ122.3MHZ
TWR/SAN
FERNANDO
FREQ118.15MHZ
PREVIOUS COOR ATS CIV/MIL. CTN.

（写真）El Estimulo

“INAC が発表したとされる飛行区域の制限情報”

しかし、翌12月1日 INACは

「INACが航空制限を拡大したとの情報について、そのようなニュースは虚偽であることを明確にする」

「現時点で、INACは“ベネズエラにおける民間航空会社の運航を2026年3月まで全面的に禁止する”という公式声明は一切発表していない」

との声明を発表。

ベネズエラ空域での飛行制限に関して虚偽の情報が拡散されていると警鐘を鳴らした。

ただし、INACが発表した“ベネズエラにおける民間航空会社の運航を2026年3月まで全面的に禁止する”という声明は、「マイケティア飛行情報区の一部地域について、民間航空および一般航空（GA）を含むすべての非軍用航空機の運航を全面的に制限／禁止する」という内容と少しニュアンスが異なる。

そのため、前述の報道は事実だが、この報道が脚色され、「ベネズエラにおける民間航空会社の運航を2026年3月まで全面的に禁止する」と報じられており、INACは脚色された報道を否定しているのか、あるいは前述の報道自体を否定しているのかが分からない。

なお、マイケティア飛行情報区のN5、N6、N7、N8の4つの地域の飛行が禁止されたとすると、少なくともブラジルやコロンビアの一部地域への飛行に影響を与えることになるというが、実際に減便があったという報道は確認していない。

他、11月26日にINACは「Iberia（スペイン）」、「TAP Air Portugal（ポルトガル）」、「Avianca（コロンビア）」、「LATAM Colombia」、「Turkish Airlines（トルコ）」、「GOL Linhas Aéreas Inteligentes（ブラジル）」の6社のベネズエラでの飛行ライセンスを取り消した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1301](#)」）。

12月1日、これに加えて「Air Europa」「Plus Ultra」の飛行ライセンス取り消しも決定されたと報じられている。

しかし、「Air Europa」「Plus Ultra」は運航停止期間を延長したのみで、飛行ライセンスを取り消されたわけではないとの指摘もあり、真偽が分からない。

いずれにしてもベネズエラの国際線関連の情報は混乱しており、事実がはっきりしない状況になっている。

「国会 カリブ海での米軍による殺人調査を開始」

12月1日 ホルヘ・ロドリゲス国会議長は、米国軍による麻薬取り締まりオペレーションにより亡くなったとされるベネズエラ人の家族らと協議を実施。

会合後に記者会見を行い「麻薬取り締まりの口実の下で、米国政府によるベネズエラ国民の殺害が行われている」と主張した。

また、「被害者の家族は、一部のセクターから事実を公表しないよう強い圧力を受けている」と指摘。「国会で米国軍によるベネズエラ国民の殺害について調査、追及する」との方針を示した。

経 済

「12月観光業 国際線キャンセルで打撃

～1～10月の観光業は前年同期比56%増～

「ベネズエラ全国ホテル連盟（Fenahoven）」のAlberto Vieira代表は、国際線の運航停止に伴い、クリスマス・年末シーズンのホテル予約のキャンセルが急増していると訴えた。

Vieira代表は、具体的な数字については公表しなかったが、今回の国際線のキャンセルに伴う予約客の急減について「全く考慮しておらず、一切準備をしていなかった」とコメントした。

Vieira代表は、数日前にクリスマスシーズンのホテルの平均稼働率について「50%に達する見込み」と説明していたが、この予定を下回ることになりそうだ。

クリスマスシーズンの観光業には暗雲が立ち込めているが、それまでの観光業は比較的堅調だったのかもしれない。

マドゥロ大統領は、2025年1～10月までにベネズエラを訪問した外国人観光客数が287.8万に達したと発表。これは前年同期比56%増だったと説明した。

「ベネ送金受取額 前年比16%減の32億ドル」

経済アナリスト Leonardo Soto 氏は、2025年のベネズエラの外国からの送金受取額について32億ドルになるとの見通しを示した。

なお、2024年の送金受取額は38億ドルと説明。前年比15.8%減になると補足した。

送金受取額が減少した理由について、「コロンビアやエクアドル、ペルーなど移民ベネズエラ人が多く暮らす国々で外国人労働者の雇用状況が著しく悪化しており、これが送金減少の要因」と指摘している。

また、送金元の国について、

「米国には約180万人のベネズエラ人が居住しており、コロンビアには250万人近くのベネズエラ人が居住している」「コロンビアと米国が全体の65%を占めている」との見解を示した。

「Black Friday 売上前年比8～12%増」

「全国ショッピングセンター商工会（Cavececo）」の Emilio Conde 役員は、11月28日のブラック・フライデーの売上について

「前年より8～12%ほど増加した」との見解を示した。

ブラック・フライデー期間中に特に売れ行きが良かった商品について、「携帯電話」「テレビ」「タブレット」などを挙げ、家電製品の売上が好調だったと回答した。

また、2025年に新たなブランドや店舗がオープンし、衣類や皮革製品の売上も堅調だったと説明している。

社 会**「タチラ州空港からコロンビアへの移動が増加」**

国際線の運航停止を受けて、コロンビア国境地帯の空港から外国に移動するケースが増えている。

11月24日～30日の週に、コロンビアとベネズエラの国境に位置するタチラ州の「シプリアーノ・カストロ国際空港」利用者は、3500人から5200人に急増した。

これは48.5%増であり、主な要因は国際航空会社がカラカス発着便の運航を停止したことによるものとされている。

地元紙「Diario La Nación」によれば、多くの利用者はベネズエラに戻るため ボゴターククルートを利用しているという。

また「ヨーロッパからの旅行者の中には、コロンビアに目的地を変更し、そこを経由地としてタチラーノルテ・デ・サントアンデール国境を陸路で越え、ベネズエラに入国する人もいる」と伝えている。

この国境空港では現在「Conviasa」「Rutaca」「Estelar」「Turpial」の4社が26便を運航している。

なお、同紙によると、利用者の増加に伴い航空券の料金も上昇しており、これまでは平均95ドルだった運賃が150～200ドルに値上がりしているという。

2025年12月2日（火曜）

政治

「マドゥロ政権 米国からの移民送還便を再開」

12月2日 交通省は、「米国から移民送還便の再開の申請を受けたため、同国からの移民送還便の受け入れを再開する」と発表した。

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1302](#)」にて紹介した通り、マドゥロ政権は米国の移民送還便の停止を発表したが、発表から3日後に撤回したことになる。

米国からの要請を受けて、マドゥロ大統領が米国の「Eastern Airline」（アリゾナマイケティア便）の受け入れを承認したという。これにより Eastern Airline は毎週水曜、金曜にマイケティア空港へ移民を送ることになるようだ。



La Autoridad Aeronáutica de Venezuela informa que ha recibido la solicitud del Gobierno de los EE.UU. para reanudar los vuelos de repatriación de migrantes venezolanos desde ese país hasta Venezuela.

En consecuencia, por instrucciones del Presidente Nicolás Maduro, se autoriza el ingreso a nuestro espacio aéreo de las aeronaves operadas por la empresa EASTERN AIRLINES LLC, en la ruta Phoenix, Arizona-Maiquetía, con número de vuelo EAL8280/8281, en la aeronave B777-200, matrícula N771KW (principal), N825KW (alterna), para que aterricen en el Aeropuerto Internacional de Maiquetía, como de manera periódica semanal ha venido ocurriendo los días miércoles y viernes, desde el acuerdo suscrito entre nuestro Gobierno y la administración estadounidense.

Esta autorización ha sido emitida conforme a las leyes de la República Bolivariana de Venezuela y a las leyes internacionales de la aviación civil.

La repatriación de nuestros connacionales para reunir a la familia venezolana a través del Plan Vuelta a la Patria, continuará.

(写真) 交通省

「トランプ大統領 陸上攻撃意思を改めて表明」

12月2日 トランプ大統領は、改めてカリブ海での麻薬取り締まりオペレーションをエスカレートさせると発表。ベネズエラおよびコロンビアに警告を発した。

「今後、地上でも攻撃を開始する。こちらの方がずっと簡単だ」「麻薬組織が使うルートは把握している」「彼らのすべてを知っている」「どこに住んでいるかも分かっている」「悪者がどこにいるか把握しており、近いうちにそれを始めるつもりだ」「奴らを叩き潰す」と述べた。

また、記者から「攻撃はベネズエラだけに限定されるのか」と問われた際、

「コロンビアがコカインを生産していると聞いている」「彼らは製造施設を持っている」「そして我々にコカインを売っている」

「そうしたものを製造し、我が国に売りつけている者は、ベネズエラに限らず攻撃対象になり得る」と回答。

これまでは「ベネズエラを陸上攻撃の標的にしている」と報じられていたが、コロンビアまで攻撃対象を拡大する可能性を示唆した。

なお、この発言を受けてペトロ大統領はソーシャルメディアでトランプ大統領に向けたメッセージを投稿。

「どうぞトランプ氏、コロンビアに来てください」「毎日9カ所の麻薬ラボを破壊して米国にコカインが届かないようにしている現場をぜひ見てください」

「私はミサイルを使わず、政権発足以来18400の麻薬ラボを破壊してきた」「40分に1つラボを破壊してきた」「どうやってラボを破壊するのか教えてあげよう」

「しかし、我々の主権を脅かすな」「ジャガー（＝コロロンビア）を目覚めさせることになる」「我々の主権を脅かすことは戦争宣言を意味する」「両国の長年にわたる外交関係に傷をつけるな」と反論した。

「各国政府 ベネズエラ渡航に警戒呼びかけ」

米国とベネズエラの対立がエスカレートし続けており、多くの国がベネズエラへの渡航に警戒を呼び掛けている。

12月2日 スウェーデン外務省は自国民に対して、「本日よりベネズエラへのいかなる渡航も推奨しない」と発表。ベネズエラへの渡航を控えるよう勧告した。

同日、ノルウェー外務省も声明を発表。自国民に対してベネズエラへの渡航を控えるよう求めている。

「ベネズエラの治安状況は予測不可能で、急速に変化している。国内外の交通機関や通信網は影響を受けており、複数の航空会社がフライトをキャンセルしている」

「ベネズエラからの出国が非常に制限されたり、突然不可能になったりする可能性がある」

「現在ノルウェーは、カラカスに外交支援体制を置いておらず、ボゴタ大使館が管轄になっている」

「現在の状況でボゴタの大使館がベネズエラにいるノルウェー国民に領事支援を提供できる選択肢は限られている」

との見解を表明した。

内容は同じなので割愛するが、同日にフィンランドもスウェーデン、ノルウェーと同様の見解を表明した。

なお、前述の3カ国よりはマイルドだが、日本外務省も12月1日付で「[米国との緊張の高まりに伴う注意喚起（その4）](#)」を公表している。

同発表のポイントは以下の3点（外務省発表の抜粋）。

- ・ベネズエラと外国との間の航空便や当地周辺の空域を巡り、ベネズエラ、米国双方から情報発信があり、欠航便や遅延が継続しています。
- ・一部の外国資本の航空会社及びベネズエラの航空会社による運行は継続していますが、ヨーロッパ方面の国際便は欠航が継続されています。
- ・については、報道等により最新情報を入手するなど、注意すると共に渡航の是非を検討してください。

「国際刑事裁判所 カラカス事務所閉鎖を発表」

12月1日 「国際刑事裁判所 (ICC)」検察局は、同組織のカラカス事務所を閉鎖すると発表した。

ICCのMame Mandiaye Niang 検事は、事務所を閉鎖する理由について「補完性について実質的な進展が見られない」とコメント。

「限られた資源を効果的に管理する必要性を認識し、カラカス事務所を閉鎖することを決定した」と説明した。

Niang 検事が指摘する補完性とは、「当該国自身が告発されている犯罪を真摯に調査すべき」という原則のことである。

また、Niang 検事は、「カラカス事務所は閉鎖したが、ベネズエラで犯されたとされる人道に対する罪の容疑については引き続き捜査を継続する」と補足した。

この発表を受けて、翌12月2日 ベネズエラ国会は「国際刑事裁判所 (ICC)」が、ベネズエラとの協力合意を違反したと非難。

ロイ・ダサ議員は「我が国は主権を持つ独立国家であり、ICC はベネズエラの立法権を超越する組織ではない」と主張。ローマ規定加盟法の廃止に向けたプロセスを開始するべきと提案し、この提案は全会一致で承認された。

「国会 野党政治家5人の国籍はく奪を提案」

「[ベネズエラ・トゥデイ No.1300](#)」で紹介した通り、米国デラウェア州裁判所は、CITGO の持ち株会社である PDV Holdings の競売の落札企業を決定した。

12月2日 この決定を受けて、ホルヘ・ロドリゲス国会議長は、マドゥロ大統領に対して、CITGO 競売の主だった責任者である5人について、国籍をはく奪するよう提案した。

国籍はく奪の対象になっている5人は、

- ・ Juan Guaidó (元暫定大統領)
- ・ Carlos Vecchio (野党が任命した在米ベネズエラ大使)
- ・ Dinorah Figuera (暫定政権当時の野党国会議長)
- ・ Horacio Medina (暫定政権が任命した CITGO 社長)
- ・ José Ignacio Hernández (暫定政権の元会計監査総長)

以前からマドゥロ政権は反政府派の国籍をはく奪しようとしているが、憲法上「ベネズエラで生まれたベネズエラ人の国籍をはく奪することは出来ない」と明記されている。

憲法に定められている限り、5人の国籍をはく奪することはできないとの認識が一般的だが、マドゥロ政権は2026年に憲法改定を行う予定であり、この部分について修正が加えられる可能性が高そうだ。

経 済

「CITGO 競売 CITGO、Gold Reserve 申し立て
～マドゥロ政権 国家資産を奪う詐欺の蛮行～」

米国のデラウェア州裁判所は、「Elliott Investment Managment」の子会社である「Amber Energy」に「PDV Holdings」を落札させることを決めた。

しかし、この決定について2社から申し立てが起きている。

1社目は「CITGO Petroleum」自身。

12月1日 CITGO Petroleum は同決定を不服として申し立てを行った。

CITGO Petroleum は、今回の競売について、「競売特別担当がアドバイザー会社から資金提供を受けているなどイレギュラーが確認される」と指摘。決定に異議を呈した。

2社目は「Gold Reserve」。

両社は同じ理由を元に異議申し立てを行っている。

また、マドゥロ政権は米国ではベネズエラ政府と認識されていないので、米国司法プロセスに参加することはできないが、デルシー・ロドリゲス副大統領は、本件について「米国域内でベネズエラの家産を奪う蛮行であり、詐欺行為」と訴えている。

「米国政府は自国の司法権に介入し、ベネズエラの正当な政府を司法プロセスから排除し、国家の保護する権利を阻害した」「我が国の資産を奪うための戦略だった」
「今回の件は米国によるベネズエラへの度重なる攻撃の1つであり、本件にはマリア・コリナ・マチャド、エドムンド・ゴンサレス、ファン・グアイド、ホルヘ・ボルヘス、カルロス・ベッキオ、ホセ・イグナシオ・エルナンデスなどの犯罪者が関与している」と訴えた。

「コーヒーイベント 高得点得た上位5ブランド」

カラカスのカルロタ空軍基地でコーヒー関連イベント「IV Encuentro Internacional de Cafés de Especialidad Venezolano (Eicev 2025)」が開催された。

同イベントは、ベネズエラのスペシャルティコーヒーを披露するイベントで、披露されたコーヒー豆のスコアが発表された。以下、高得点を得たコーヒー豆 TOP5を紹介する。

1位：Estancia Aires del Campo

ハニープロセスを施したゲイシャ種がEicevのゴールドカップを受賞し、キロあたり5500ドルという記録的な販売価格を達成。スコア：91.54。

2位：Hacienda El Recreo

カラボボ州の山岳地帯にあるコーヒー農園の復興に取り組んだリカルド・ロサダ氏の指導のもと、実験的な加工を施したゲイシャ種が2位を獲得。スコア：91.03。

3位：The Roros Coffee

トルヒーリョ産。ウォッシュド加工のスペシャルティコーヒー「タビ」で、生産者ロニー・デュラン・メヒア氏が3位を獲得。販売価格は1キロあたり1300ドル。スコア：90.38。

4. Aires del campo

ナチュラルプロセスによるゲイシャコーヒー。
スコア：90.3。

5. Hacienda Don Jesús

ララ州産。生産者はジェニー・エスカロナ氏とアルベルト・ギル氏。スコア：89.83。

「Chevron マラカイボ湖で浚渫作業実施」

Chevron はマラカイボ湖で産油活動を行っているが、同湖の泥が堆積しており、出荷時の障害になっている。

マドゥロ政権が国際機関から融資を受けられないため、「国立水路整備院 (Incanal)」は資金不足に陥っており、泥を除去する浚渫作業が出来ていないことが理由。

本件について「Exclusivas Económicas」は、Incanal に代わって浚渫作業を Chevron と委託を受けた民間企業が行っていると報じた。

第1段階として、マラカイボ南部 Bajo Grande ターミナル周辺の浚渫を完了させる計画が進められている。これにより ULCC や VLCC などの大型タンカーが入港可能となり、Petro Boscán の生産出荷量を増やして、米国向けの原油輸出を拡大すること可能になる。

なお、Boscán 油田の生産量は1日あたり10.8万バレルで、石油・鉱山省が公表している総生産量（約110万バレル/日）の約10%を占めている。

また、第2段階として浚渫範囲を南部へ拡大し、トルヒーリョ州の La Ceiba 港周辺で、棧橋へのアクセス、停泊区域を確保するための水路拡張計画があるという。

以上